

★ 火災度數調 ★

月別	昭和二十二年		昭和二十三年	
	全國	本縣	全國	本縣
1月	1,353	16	1,609	20
2月	1,975	24	1,830	19
3月	2,146	23	2,047	28
4月	3,385	61	1,921	32
5月	1,359	15	1,969	15
6月	939	10	1,259	22
7月	848	12	825	9
8月	1,189	21	855	13
9月	872	14	828	12
10月	1,033	7	983	10
11月	1,743	18	1,181	7
12月	1,964	22		22
計	18,806	243		209

復興はばか敵 火災の絶無を期して

火災豫防運動式等の記念行事

火災の絶無を期して

國税強調週間として全國がさされたことと思いま
る。県下一齊に地方税務職員が總動員し、又あら何故にこうした多額の費用を、困窮しきつた縣の台所から支出せねばならないか?又戸別納税運動を利用して納税強調週間として全国がさされたことと思いま

全般を細かく觀察して、これに關する相談指導に當るとともに特別な保護を必要とする兒童及び妊産婦に對しては、適當な福祉の措置を講ずる等重要な使命をもつてゐる。従つて兒童委員は常に擔當區域内の必要な兒童及び妊産婦の個別的な保護指導及び集團指導を行つて、その時々の社員は常に一般情勢をよく知つて、その一般的な社會問題の解決はむしろ大であつてここに児童委員の解協力と児童委員の思想。

縣兒童課長上 美明

なうのであります。 滯納は不名誉です又滞納はお互の不利益です。一日も早く完納してこうした滞納整理に要する費用を少くしようとあります。 き縣を築き上げようとあります。 まぜんか。

桐の樹に倚りて數よひかくれんばう
(水島凡史)

落葉の庭に秋深み行く
(岩橋新)

國を擧げて最惡の年を祓えどや
大づごもりはどよもして暴る
(泉本山次)

誠實を人にもとむるは愚なるかえり
わが心今日もみだれてかえる
(建田愛子)

枯れはててそれとも見えぬ芍薬の
根も移すなり春たのむとて

いたり、納めにゆくのは、必ずです。」
うるさい、邪まさしい、吾々は生きている以上
といつたようなことで、吾々は勤勞している以上
滯納されている家もある。こんなことは納稅の
義務を果さず何が、上、吾々は事業をして
に對する理解と義務心で、減らし、減らす
に對する理解と義務心で、減らす

實相から考えると児童の就學状況等	4. 衛生の状況
しろ今後に期待する所 てめて児童委員の活動 を明らかにし縣民の理 の参考資料に供したい	小兒傳染病・小兒疾病 の状況・病院・診療所等 の活動状況
1. 人口及び世帯の静態	保健所等の活動状況 その地方民の保健衛生 知識の程度等
知つていなければな らないこと。	5. 教育の状況
未就學者數・出欠状況 児童及び保護者の教育 程度・児童圖書館等の	児童の就學状況等

